

東京二十三区清掃一部事務組合の財政見通し（令和3年度～5年度）について

① 財政計画 2021 について

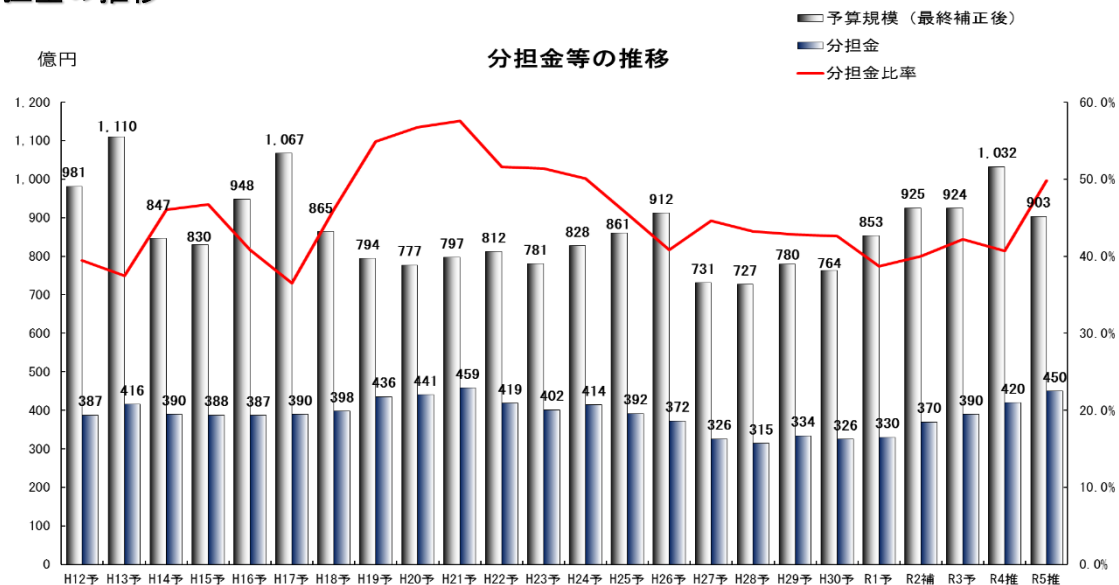
東京二十三区清掃一部事務組合（以下、「清掃一組」）最上位の計画である「経営計画」の満了に伴い、令和3年2月に「基本計画・実施計画」を策定しました。今回の財政計画2021は、この「基本計画・実施計画」に示されるごみ量予測や施設整備計画といった清掃一組の基幹的な事業計画などを具体的に数値化し、令和3年度から5年度までの3か年の財政見込みを示すものとして作成しました。

② 財政収支計画

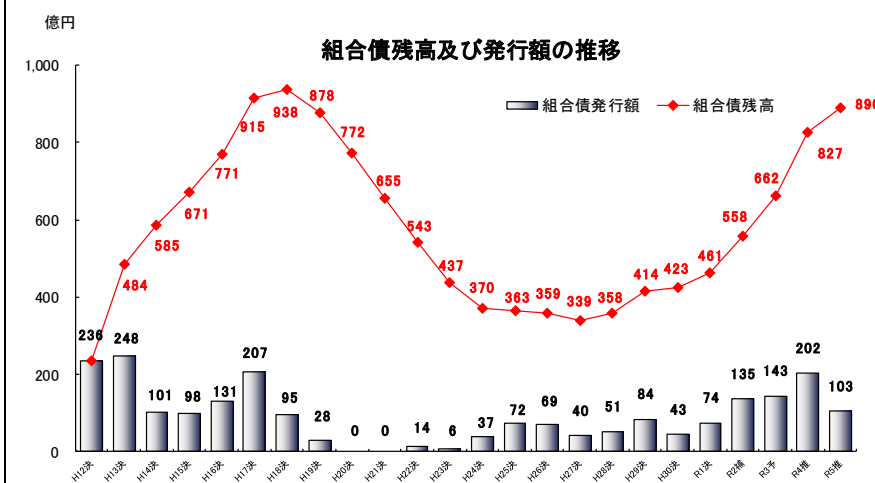
(単位：億円、%)

	財 政 収 支 計 画					
	R3年度		R4年度		R5年度	
	予 算	伸 率	財政見込	伸 率	財政見込	伸 率
職員費	108	△ 0.1	109	0.3	109	0.0
工場等運営費	443	1.0	461	4.0	504	9.4
施設整備費	317	0.8	408	28.9	231	△ 43.3
公債費 ⑤	41	0.5	39	△ 3.8	44	12.3
その他	15	△ 12.5	15	0.0	15	0.0
歳出規模 A	924	0.5	1,032	11.7	903	△ 12.5
使用料及び手数料	131	△ 17.4	156	19.8	157	0.1
国庫支出金	70	28.1	88	24.5	20	△ 76.9
組合債 ④	143	6.2	202	40.8	103	△ 48.9
諸収入等	88	△ 14.7	98	11.6	94	△ 4.0
特定財源 B	432	△ 4.2	544	25.9	374	△ 31.2
特別区分担金 ③	390	5.4	420	7.7	450	7.1
財政調整基金 ⑥	102	3.9	68	△ 33.2	79	16.3
一般財源 A-B	492	5.1	488	△ 0.8	529	8.4

③ 分担金の推移



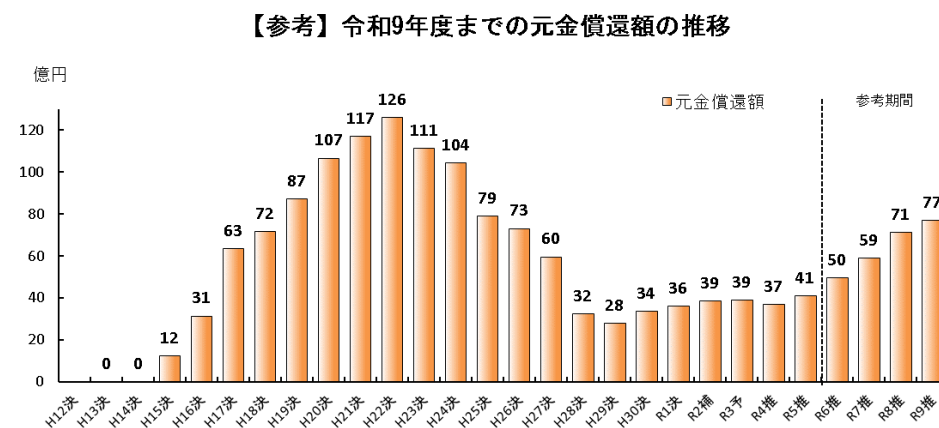
④ 組合債残高及び発行額の推移



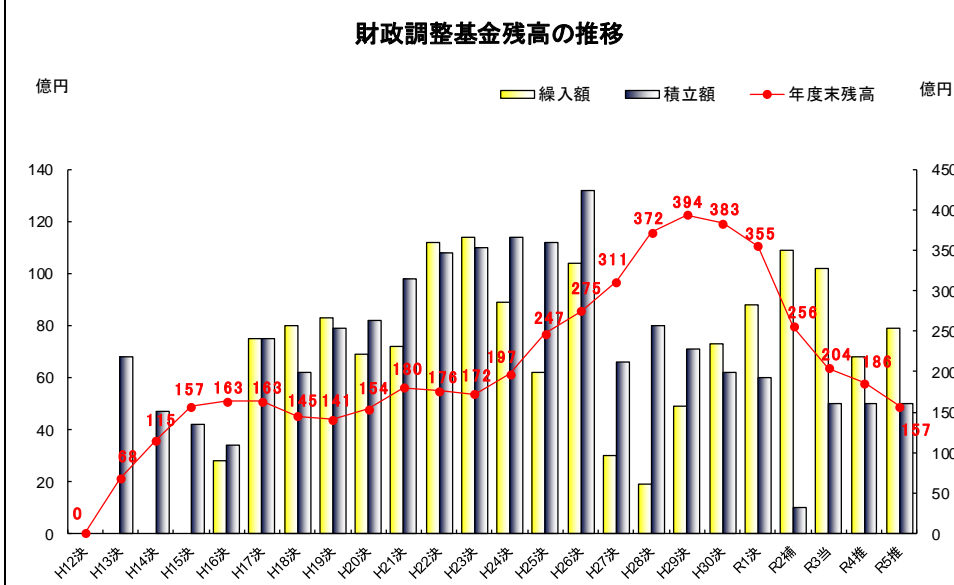
今後、組合債の残高は、清掃工場等の建替え、延命化及び再稼働に係る経費に連動する形で増加していきます。
そのため、施設整備に係る経費の削減に継続して取り組み、循環型社会形成推進交付金等の確保を行ったうえで、後年度負担にも配慮しつつ、施設整備計画を着実に進める財源として、また、特別区分担金の平準化を図るため、組合債を活用し、財源対策を図っていきます。

⑤ 組合債元金償還額の推移

令和4年度の組合債発行見込額が200億円を超えるなど、組合債残高の増加に伴い、公債費負担も増加していきます。今回計画で示した借入額の償還が始まる令和6年度ごろから、公債費の増額幅が大きくなっていく見込みです。



⑥ 財政調整基金残高の推移



コロナ禍による廃棄物処理手数料等の大幅減収により、令和3年度末の基金残高は、令和元年度末から約150億円の大減となる204億円の見込みです。
引き続き、特別区分担金の平準化を図り、また不測の事態に備えるためにも、150億円程度の基金残高は必要であり、これまで以上に自主財源の確保と経費の節減に努め、中長期的な視点をもって、将来の必要額を維持しながら活用していきます。